

Rubik's Puzzle あれこれ

80年のRubik's Cube 大流行の後も様々なRubik's Puzzleなるものが出てきています エルノー・ルビック氏がデザインしたのは キューブの後に出了た ルービック・マジックとルービック・クロックあたりまでとされています その後の数々のルービック・〇〇と呼ばれるパズルは いわばルービックブランドのパズルです



Rubik's Triamid

正四面体を基本とするピース10個を組み合わせて1辺3単位の正四面体をつくるパズル
3色に塗り分けられているので様々なパターンをつくるができます



Rubik's Maze

6個の立方体がジョイントされていて自由に回転 折り曲げることが出来ます 図は2×3ですが1×6の直線上にもなります どのような形にしても迷路は繋がるのですが おもしろさはよくわかりません



Rubik's Rabbits

山高帽が5層のシリンダーに分かれています 回すことでウサギが現れたり消えたりします うまくシリンダーを組み合わせて9羽のウサギが現れるようにするのが目的



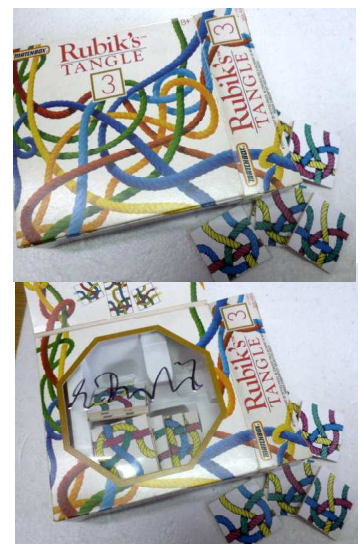
Rubik's Dice

立方体の中には1面の大きさの板が6枚入っています 板には赤いドットがいくつかつけられています 板をパタンと倒し向きを変えてから起こす というような動作を繰り返して1の目を赤に他の目を白にして完成させるのが目的



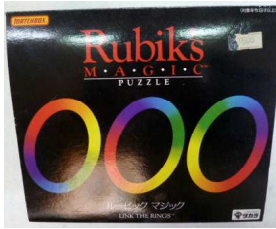
Rubik's Fifteen

いわゆる15パズルですが自由度は低いです 駒の動きは縦横についているレバーで操作します レバーを上下左右に操作することでそれぞれの行や列全体が移動します バラバラになった状態からレバー操作を繰り返して数字を揃えるのが目的



Rubik's Tangle

25ピースのマッチング・パズル 5×5マスに並べて同じ色の紐が繋がるように組み合わせるパズル 4色の紐で構成されています その組み合わせは24通り えっ?! 25枚ありますね ということは・・



Rubik's Magic



Rubik's Magic
Unlink the Rings



Rubik's Clock



Rubik's Magic
ストラテジーゲーム

帯からくりのような仕組みを用いた Rubik' Magicは斬新で おもしろいと思いました ちょっと無理して繋いでいるワイヤーを切ったりしたものでした その残骸がいくつか残っていました
Rubik's Clockも それまでになかったメカニカルな仕組みで おもしろかったです ストラテジーゲームは もはやパズルではなくゲームですね



Rubik's Rings

交差する円に並べられた3色のボールを揃えるパズル
円上のボール全体を動かさなければ移動できないので ちょっと操作性が悪いです



Rubik's Bricks

ここまできると 何かなんだかという状況
内容は2色に塗り分けられたSomaCubeです
色で様々なパターンを作るのが目的のパズル



Rubik's Double
Tangram

これも名の通りタングラム2組
表裏が白と黒で塗り分けられているので 形だけでなく模様もいろいろ作ることができるようになっています



Rubik's Shell

Rubik's Ringsと似ているところがありますが こちらは円形が2層になっています それらが直交する形で繋がっています レベルがあり 最初はそれぞれの円盤は自由に回転しますが レベル2は上下ひと組の円盤が固定され同時に動きます さらにレベル3では 円盤は2組とも上下が固定されて動きます



Rubik's Mini Cube

これは2x2x2のルービック・キューブです
絵柄がバットマンになっています いくらでも種類がくれそうですね
どれだけあるのかは知りません



Rubik's Brain Racker

正二十面体の形
構成する正三角形をひとつ取り除いて その空所を利用して駒を移動させるパズル
4色に塗り分けられていますから いろいろなパターンを作れます

おまけ



Erno Rubik氏がつくった
記念用キューブ



2x2のRubik's Magic



チェス盤が作れる
Rubik's Magic



Mini Rubik's Magic

その他 パズル以外にも
Rubik's印のグッズは多数
あります
掛け時計 置き時計
メモリースティック
ボールペン 灰皿
マグカップ などなど